







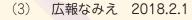




過ごしていた 町 で 絆を感じ \mathcal{O} 思 5 、 な む む セ 2 るの 出があ 友人とで あった. る 友人。 たない 、今まで以上の困難にさらからこそだと思います。いでしょうか。それも、こでも、私たちは以前にも増。 も増して沿 江強を

西方の思い出たな、たちとしたの困難にさらされる ことが予想されます。人口問題、財政問題、未だ解除されていないでしょうか。浪江は過去にも幾度の大きな自然災害の被害に遭ってきました。それでも私たちには、おのすにはないでしょうか。 高めず浪江の復興を成し遂げ、震災以前の過ごしやすい 認定です。時には心もとない言葉を掛けてしまうことができなかった絆があります。その絆はここにいる町 民だけではなく、ここにはいない町民とももちろんつな たすことができなた友人、道を正してくださった恩師、 この日を迎えることができたのは、何よりも家族のおかげ です。時には心もとない言葉を掛けてしまうことや、身勝 手な行動で振り回してしまいました。また、多くの してしまかった絆があります。その絆はここにいる町 この日を迎えることができたのは、何よりも家族のおかげ です。時には心もとない言葉を掛けてしまうことや、身勝 手な行動で振り回してしまいましたが、どんな荒波も乗り越え今日 この日を見てしたを気にしてくださる町民の方々、皆さんの支え がなくては今日この場に立つことができませんでした。 この日をしたうを気にしてくださる町民の方々、として たちを気にしてくださる町民の方々、として なくては今日この場に立つことができませんでした。 の支えになったのは両親の温かい存在でした。 この日本全国の方々、皆さんの支え がなくては今日この場に立つことができませんでした。 この日を迎えることができたのは、何よりも家族のおかげ です。時には心もとない言葉を掛けてしまうことや、身勝 手な行動で振りました日本全国の方々、皆さんの支え がなくてにしてくださる町民の方々、として なくては今日この場に立つことができませんでした。 とのでも、2018 2 1 この場をお借りして感謝申し上げます 本当 にあ りが

げ、誓いの言葉と新成人を目指し、 とうござい 最後になります ました。 つながり、 とさせていただきます。 、何事にも真摯に取り組む決意 すが、これまで培ってきた絆、 ¹を大切にできる これ から





安は大きく変っっ、それた人てきましたか? 去 います。

でした。 の知っているあの場所とは全く違うものになっています。 での知っているあの場所とは全く違うものになっています。 し、私たちに飛び込んでくる浪江町のニュースは決して悲し、私たちに飛び込んでくる浪江町のニュースは決して悲しいものばかりではありません。昨年の3月には浪江町の明るいニュースを聞くことは、悩みに尽きない生活で すの建物があり、やるせない気持ちにもなります。しか ずの建物があり、やるせない気持ちにもなります。しか での明るいニュースを聞くことは、悩みに尽きない生活で 震災後7年、変化が激しい中でも、変わらないものも、 したちの心の支えになったのではないでしょうか。 の知っているあの場所とは全く違うものになって思い出のあの場所は無くなってしまい、もしくご姿は大きく変わってしまいました。 、は私たち

ちとの絆です。常日頃顔を合わまちろんあります。それは今日震災後7年、変化が激しい中 常日頃顔を合わせる友人から震災以降初5す。それは今日この場に集まった友人た変化が激しい中でも、変わらないものも、

祝 平成 30 年 浪江町成人式

ご成人おめでとう ございます 1月7日、平成30年浪江町成人式が浪江 町地域スポーツセンターで行われました。

ふるさと浪江での開催は7年振り。出席し た新成人117名は、故郷への思いとはたちの 志を胸に、堂々と羽ばたいていきました。 郷里での友人・恩師との再会に、皆さんの 笑顔があふれていました。

たぎたっ、 に、 なることができました。 各々が様々 年が経とうとしている今、 私たちはよ 決して楽しいだけの20年間ではなかったのではないただけることを、大変幸せに思います。 • 新成人代表 • 山本 幸輝さん (大堀地区) 越えてきま 様 の 々な困 場に 私たちは今日

広報なみえ 2018.2.1 (2)

[難を乗 る

6 で

日本に

た

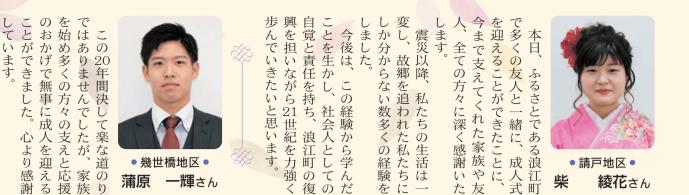
至

ま

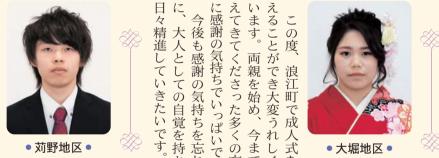
誓

い

の言葉



強く感じます。 浪江町にあるのだということを 時に、やはり自分自身の原点は いました。 していきたいです。 郷のために何ができるかをしっ いっぱいになります。それと同 がよみがえり、懐かしさで胸が と、ほかにもたくさんの思い出 悔しかったこと、つらかったこ 思い返すと、楽しかったこと、 の学生生活で、これから私が故 います。そして、残りの2年間 方々への最大限の恩返しだと思 国各地に住むお世話になった す。これが福島に住む家族や全 生き、元気な姿を見せることで た全ての方々に感謝いたします。 り、今まで自分を支えてきてくれ かりと考え、覚悟を決めて行動 は、 す。学生の自分に今できること 返していく時間だと思っていま この度は誠にありがとうござ 今、浪江町で過ごした日々を 本日 健康第一で今を一生懸命に 成人式を迎えるに当た • 浪江地区 • 亮太さん 清信





に感謝の気持ちでいっぱいです。 えてきてくださった多くの方々 います。両親を始め、今まで支 えることができ大変うれしく思 この度、浪江町で成人式を迎 今後も感謝の気持ちを忘れず 大人としての自覚を持ち、

木幡 大也さん



これからの人生は、今まで受

これから先、浪江町で育ったと

に発言や行動に責任を持たなけ

はたちになり、これまで以上

き、

大変うれしく思います。

また浪江町で集まることがで

震災から6年が経ちましたが、

いっぱいです。







と思います。 に向けて日々精進していきたい ればなりませんが、自分の将来

けたたくさんの恩恵を少しずつ

を切り開いていけるよう、日々頑いうことを誇りに思い、自分の道

張っていきたいと思います。



希美さん

歩んでいきたいと思います。 くださる人々への感謝の気持ち れる学び舎に通うことができた び舎にあります。保育所ではの ちに関わってくださった方々に を忘れずに、これからの人生を のは一生の思い出です。支えて 中学校では人の温かさを感じら びのびと自分らしく、小学校・ 感謝の気持ちでいっぱいです。 さいました家族、先生方、私た 私たちの原点はこの津島の学



(4)広報なみえ 2018.2.1